

小学校廃校跡地 先日お伝えした地域連携の中には、廃校となる小中学校の跡地利用についても高校が意見を出したり、地域



域で考えられたりして、その利用方法について検討がされています。先日見に行ったのは、小学校が合併したことによる跡地利用された場所です。体育館で金魚すくい、メダカすくい、川魚釣り、ニジマス釣り等の大きな水槽があり、体験できるようになっていました。校庭には、ドッグランや、BBQ設備が作られ、体育館で釣ったニジマスをその場で焼

いて食べられるようになっていました。家族連れが多く、子ども達には大人気の様です。以前県立高校の校長をしているときに、このような廃校利用のケースでは、ウナギの養殖や地域の食材販売所などに利用されている場所を見学に行きました。本校の近くの旧北野小学校跡地は「北野工房のまち」から「KOBE KITANO NOSTA」にリニューアルされ、飲食店や日本酒ショップ、スイーツショップが入った施設になっています。今後少子化が進む中でそれぞれの地域が、廃校となっていく小中学校、高校の跡地利用を積極的に考え、集客からの移住計画など積極的に進めていって地域活性につなげていってほしいと思っています。また、本校の神戸探究でもそういった提案などができるようになれば、探究学習からの進路実現がもっと図れるのではないかと考えています。写真は旧三木市立中吉川小学校跡地利用でできた「つりの体育館」です。

全国大会出場壮行会・全校集会(6/23) 6月23日に全国大会に出場する部と硬式・軟式野球部の県大会出場の壮行会と全校集会が行われました。



壮行会で私からは、「1番を目指そう」という話をしました。同じ高校生の試合です、相手が強くても、うまくても必ず勝てるチャンスは来ます。そのときになって初めて「勝てるかも」と思っても、うまくいかないことは多いです。「最初から勝つ気で臨みましょう。そのための準備をしていきましょう」と話をしました。生徒会長からも「悔いのない戦いを」という話もあり、緊張感漂う壮行会ができました。それぞれの部の健闘を祈ります。その後、全校集会での私の話は、「靴の減り方からの歩き方のチェックと姿勢の確認」のお願いをしました。5月の集会時は傘の話でしたが、今回は習慣となる姿勢や歩き方の話で、それは面接試験などにも影響してくる可能性があるのではと見直しを勧めたものです。終業式までのまずは1ヶ月間、意識してほしいです。よろしくお願いします。そしてクラス役員との任命式と表彰伝達がありました。県総体、県民大会にかかる表彰が多く、かなりの時間を費やしましたが、同時に本校部活動生徒の頑張りを改めて感じる機会となったことはいまでもありません。よく頑張りました。

中野前校長が県知事より感謝状贈呈 6月24日に校長会があり、その席上で中野前校長が、齋藤兵庫県知事より感謝状を贈呈されました。長年の校長業務に対するものです。県幹部の方々も多く来られてその功績を称えられました。おめでとうございます。今は神河町で教育長をされており、幼・小・中の教育、公民館の事業、スポーツ施設が担当とのこと。神河町も子どもの人数が減っており、大きな課題だそうです。お体にはくれぐれも気をつけていただき、ますますのご活躍を祈念いたします。

硬式野球部主将読売新聞掲載 6月25日読売新聞朝刊神戸明石版に野球部衣笠主将の記事が掲載されました。被災地代表として本校野球部が甲子園選抜大会に出場した際の選手だったお父様と重ねて、本校の1.17ボランティア活動からの甲子園出場に向けて頑張る衣笠主将の記事です。チームをまとめる難しさを感じながら、どの部にも共通することですが、試合に出られる選手は限られているので、一体感を持つための



工夫をしていることと思います。7月10日に初戦を迎える本校野球部。いろいろな思いを達成する意味においても悔いのない戦いから栄光をつかんでほしいです。頑張ってください。



こうべ小学校 2 年生学校見学で来校 6月25日、こうべ小学校2年3組の児童が本校を訪れました。学校見学ということで授業を見て回りました。生徒会の生徒が案内役を務め、体育館、柔道場での授業を見学。体育館ではバスケの授業をしていましたが、シュートが決まるたびに大きな歓声をあげ、柔道場では柔道を習っている児童が前回り受け身を決めると拍手喝采で楽しんでもらいました。地域の交流も含め、このような形で

学校を見ていただくことはとても大事だと思っています。中には「俺ここに来ようかな」等好印象を持ってくれる児童もいて良かったと思いました。生徒会の皆さんも親身になって児童の話を聞いたり、引率を手伝ってくれたりしてくれてありがとうございました。担当の入試広報部の先生方もお疲れ様でした。

来週から期末考査はじまります 6月もまもなく終わり、7月1日からは期末考査が始まります。定期考査をなぜ実施するのか、自分が高校生の時もいつも「しんどいな」と思っていました。将来教員になるには、「大学に行って」とか「どこの大学に行って」等を考えると「せざるを得ないという学習」だったように思います。自分の将来と見合わせて必要なことには時間をかけてでも取り組めるとは思いますが、それが見つからない、わからないいうちはできるだけ自分の選択肢を増やすために学習を継続することは大切だと思います。少なくとも定期考査は範囲も限られており、やればできるものです。まずはやってください。理解が進めばやる気が出てくるものも増えてきますし、自らの取組が進めば新たな発想も生まれてきて自分自身の成長を感じることができます。わからないことはしっかりと確認して期末考査に備えましょう。